

事 務 連 絡
令和 5 年 9 月 1 日

各都道府県消防防災主管課 御中

消防庁危険物保安室

令和 5 年度危険物安全週間推進行事の実施結果の情報提供について

危険物行政の推進については、かねてより特段の御配意をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、「令和 5 年度危険物安全週間推進行事の実施結果について」（令和 5 年 5 月 17 日付け消防危第 138 号）により、今後の危険物安全週間推進事業をより効果的に実施し、危険物保安を推進する参考資料として、周知を希望する取組み等があれば情報提供いただくようお願いしておりましたところ、別添 1 のとおり、33 件の情報提供をいただきました。来年度の危険物安全週間推進行事の検討にあたっては、より効果的な実施に向けてこれらの資料を参考にしていただければ幸いです。

また、これらの実施結果については、広く一般の方々にも知っていただき、危険物の保安に対する意識の高揚を図るため、消防庁ホームページでも公開しております。

貴職におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、この旨周知くださいますようお願いいたします。

消防庁ホームページ

<https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/post-12.html>

(連絡先)

消防庁危険物保安室 村山、若菜、田中

T E L 03-5253-7524 (直通)

E-mail fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp

情報提供があった消防本部等一覧

○北海道

- ・江別市消防本部
- ・小樽市消防本部
- ・南宗谷消防組合消防本部

○岩手県

- ・一関市消防本部

○宮城県

- ・塩釜地区消防事務組合消防本部

○福島県

- ・いわき市消防本部
- ・伊達地方消防組合消防本部
- ・双葉地方広域市町村圏組合消防本部

○茨城県

- ・石岡市消防本部

○群馬県

- ・多野藤岡広域消防本部

○埼玉県

- ・草加八潮消防局

○石川県

- ・小松市消防本部
- ・白山野々市広域消防本部

○福井県

- ・嶺北消防組合消防本部
- ・若狭消防組合消防本部

○長野県

・ 松本広域消防局

○岐阜県

・ 多治見市消防本部

○静岡県

・ 富士宮市消防本部

○大阪府

・ 泉州南広域消防本部

○兵庫県

・ 伊丹市消防局

○和歌山県

・ 橋本市消防本部

○広島県

・ 呉市消防局

・ 東広島市消防局

○香川県

・ 大川広域消防本部

・ 坂出市消防本部

○愛媛県

・ 松山市消防局

○長崎県

・ 佐世保市消防局

○熊本県

・ 山鹿市消防本部

○大分県

- ・由布市消防本部

○沖縄県

- ・沖縄県庁
- ・沖縄市消防本部
- ・中城北中城消防本部
- ・東部消防組合消防本部

合計 33件

様式 1

都道府県名又は消防本部名 江別市消防本部

1 行事項目	講習会
2 行事内容	<p>危険物安全週間研修会の開催</p> <p>日時 令和5年6月9日(金) 13時30分から15時00分まで</p> <p>場所 江別市消防本部庁舎 3階多目的ホール</p> <p>参加人数 27人</p> <p>内容 気象災害5つのリスク 防災力向上に向けて</p> <p>講師 北海道文化放送 菅井 貴子</p> <p>詳細</p> <p>江別市危険物安全協会及び江別市防火管理者連絡協議会の会員を対象とした研修会を開催した。</p> <p>全国各地の放送局において、お天気キャスターとしてご活躍されてきた、菅井 貴子さんを講師として招き、天気、防災、環境をテーマにした講演を実施した。</p>



様式 1

都道府県名又は消防本部名

小樽市消防本部

1 行事項目	訓練・広報啓発
2 行事内容	<p>1 広報啓発 令和5年度「危険物安全週間」の実施に当たり、危険物を貯蔵し、取り扱う事業所及び市民の危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発の推進を図るため、本年6月5日に危険物輸送車両（タンクローリー車）5台及び消防車両2台により市内を走行する車両パレードを実施しました。 ※写真①参照</p> <p>2 訓練 令和5年度「危険物安全週間」の実施に当たり、危険物に係る火災予防意識の高揚及び啓発並びに職員の消火技術の向上を図るため、本年6月8日に危険物施設火災防御訓練を実施しました。 ※写真②参照</p>

写真①



写真②



様式 1

都道府県名又は消防本部名 南宗谷消防組合消防本部

1 行事項目	広報啓発
2 行事内容	<p>当消防署管轄区域内の百貨店が開店25周年を迎えるにあたり、地域活性化を目的として、同百貨店主催により、消防、警察及び自衛隊等の協力のもと、住民広報型のイベントが開催されました。</p> <p>当消防署は、消防部隊車両の展示及び危険物保安の推進を目的として、地域住民に対するチラシ等の配布を行うことで、危険物の取り扱い要点と、危険物特有の危険性を周知しました。</p>



様式 1

都道府県名又は消防本部名 一関市消防本部

1 行事項目	立入検査・講習会
2 行事内容	<p>(1) クロスロードゲームの実施 災害時における対応能力の向上を図るため、当地区の危険物安全協会会員を対象に、過去の危険物事故事例をシナリオの中に入れてながらクロスロードゲームを実施した。（写真①～②参照）</p> <p>(2) 一日査察官による立入検査の実施 普段とは違う視点から危険物施設を見て頂いたうえで、施設の維持管理及び保安に対する意識の高揚を図るため、危険物施設員を一日査察官として任命し、消防職員と合同で危険物の立入検査を実施した。（写真③～④参照）</p>

消防本部名

一関市消防本部



写真①

あなたは、地下タンク貯蔵所を管理している人です。

真冬に、在庫点検のためマンホールの蓋を開けようとしたところ、計量口の南京錠が凍結して鍵が入らなかった。
トーチバーナーがあったため、解凍し点検をしようと考えた。

トーチバーナーで解凍をする。 YES
点検をしないで自然解凍を待つ NO

写真②



写真③



写真④

様式 1

都道府県名又は消防本部名 塩釜地区消防事務組合消防本部

1 行事項目	講習会・広報啓発
2 行事内容	<p>令和4年度塩釜地区管内で発生した移動タンク貯蔵所の爆発事故（死者1名）を受け、管内に移動タンク貯蔵所の常置場所を有する57事業所に対し危険物の貯蔵及び取扱に係る注意喚起文を送付するとともに、移動タンク貯蔵所保有事業者より移動タンク貯蔵所1台を借用し、現場配属3年未満の消防吏員全員に対し、移動タンク貯蔵所に係る「設置完成検査要領」並びに「立入検査要領」について、研修会を実施した。研修会では、予防技術資格者危険物専門員2名（当組合職員）を講師とし、実演を踏まえて実施した。</p>



様式 1

都道府県名又は消防本部名 いわき市消防本部

1 行事項目	訓練
2 行事内容	<ul style="list-style-type: none">・小規模危険物災害対応訓練 小規模の危険物災害があった際の対応について、座学において職員相互の共通認識を図るとともに、資機材の取り扱い訓練を実施した。  <ul style="list-style-type: none">・大規模危険物災害対応訓練 大規模危険物保有事業所内において、2点セット（大型高所放水車と泡原液搬送車）の取扱訓練を実施し、また、敷地内の消火設備が使用不能となった場合を想定した放水銃の取扱訓練を実施した。 

様式 1

都道府県名又は消防本部名 いわき市消防本部

1 行事項目	立入検査
2 行事内容	<p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所数 84事業所 ・施設数 192施設 製造所：12施設 貯蔵所：100施設（内貯：29、外タン：42、地下タ：16、外貯：13） 取扱所：80施設（給取：45、一取：35）  <p>【聞き取り調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所数 5事業所 ・施設数 5施設 取扱所：5施設（給取：4、一取：1）

様式 1

都道府県名又は消防本部名 いわき市消防本部

1 行事項目	広報啓発
2 行事内容	<p>・危険物に関するオンライン型講習会の実施 危険物安全協会加入事業所に対し、ZOOMによるオンライン型講習会（「危ない男」を教訓としたヒューマンエラーに関する内容：15分）を実施した。また、事後アンケートで「職場研修に動画を使用したい」などの要望が寄せられたため、市公式YouTubeへ掲載した。</p>  <p>・危険物施設定期点検に関するアンケート 定期点検の推進と違反是正を行うため、危険物施設を保有する危険物安全協会加入事業所等に対してLGWAN対応の電子申請システム（LoGoフォーム）を活用して現状把握を実施した。分析結果から、危険物保有事業所目線での適正な点検実施の促進に繋がる指導の在り方を模索し、本市全ての施設の適法な定期点検の実施を目指す。</p>

様式 1

都道府県名又は消防本部名 伊達地方消防組合消防本部

1 行事項目	訓練・講習会
2 行事内容	<p>(1) オイルフェンスの展張訓練等 危険物流出事故を想定し、座学及び実技訓練（オイルフェンスの展張、土嚢を用いた流出防止対策、簡易オイルフェンスの作成方法等）を実施。</p> <p>(2) 講習会の開催 消防職員の立入検査における知識及び技術の向上を目的とし、管内事業所の協力を得て、移動タンク貯蔵所（実車）を用いて査察要領の講習会を開催した。</p> <p>(3) 資器材取扱訓練 危険物に関連する火災に備え、ラインプロポーショナー等の資器材取扱訓練を実施した。</p>

消防本部名

伊達消防本部



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤

様式 1

都道府県名又は消防本部名 双葉地方広域市町村圏組合消防本部

1 行事項目	立入検査
2 行事内容	<p>製造所等の危険物施設を有する事業所に対する立入検査の実施</p> <p>実施事業所数：20事業所 実施施設数 移動タンク貯蔵所：57施設 地下タンク貯蔵所：1施設 給油取扱所：4施設 一般取扱所：2施設</p> <p>移動タンク貯蔵所を中心に立入検査を実施する。危険物従事者については今後も計画的に保安講習を受講するよう指導。</p>   

様式 1

都道府県名又は消防本部名

石岡市消防本部

1 行事項目	訓練
2 行事内容	<p>危険物施設消防訓練指導</p> <p>危険物安全週間の行事として、危険物施設を有する事業所における自主保安体制の確立を図るため、給油取扱所の消防訓練指導を実施しました。</p> <p>1 実施事業所 株式会社ENEOSジェネレーションズ石岡旭台SS</p> <p>2 施設区分 給油取扱所（セルフ）</p> <p>3 参加者 施設従業員 8 名、消防職員 7 名</p> <p>4 内容</p> <p>(1) 総合訓練 給油中の顧客車両からの出火を想定し、初期消火訓練、通報訓練及び避難誘導訓練を実施しました。</p> <p>(2) 消火訓練 消防職員により粉末消火器の仕様及び取扱方法について説明を行い、訓練用水消火器を使用した実技訓練を実施しました。</p> <p>(3) 非常用発電機取扱訓練 災害等の停電時に備え、非常用発電機の操作訓練を実施しました。また、有事の際に円滑に使用できるよう定期的な点検やメンテナンスの必要性を呼びかけました。</p>

消防本部名

石岡市消防本部



初期消火訓練



非常用発電機取扱訓練



消火器説明 1



消火器説明 2



水消火器取扱訓練 1



水消火器取扱訓練 2

様式 1

都道府県名又は消防本部名 多野藤岡広域消防本部

1 行事項目	広報啓発
2 行事内容	5月27日 藤岡市地域づくりセンター開所記念イベントでの、消火体験装置を使っ ての消火体験、ポスターの掲示や説明等を行い、広報活動を行いました。



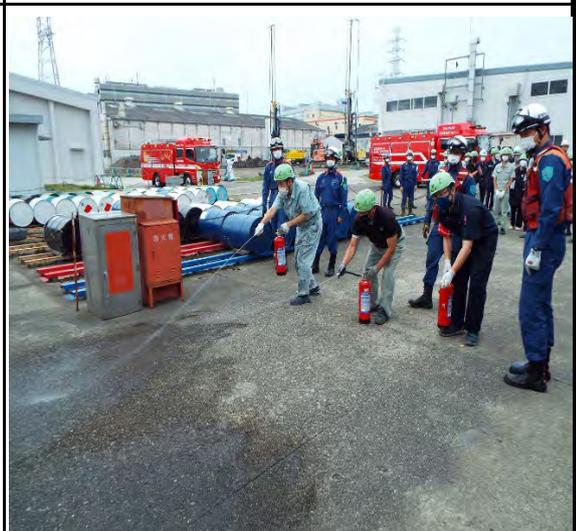
様式 1

消防本部名 埼玉県草加八潮消防局

1 行事項目	訓練
2 行事内容	<p>草加八潮消防局では、危険物安全週間中の令和5年6月6日、八潮市内の危険物施設において、製造所からの火災を想定した合同訓練を実施しました。</p> <p>危険物施設を活用した訓練であり、危険物施設関係者約30名、消防隊、指揮隊など13名の隊員が参加しました。</p> <p>訓練内容は、製造所内で漏洩した危険物に引火、火災が発生したとの想定で、自衛消防隊による初動訓練及び消防隊との連携訓練を実施し、お互いに災害時における活動について再確認することができました。</p> <p>今後も、危険物施設を活用した訓練を継続し、各関係機関との連携強化に努めてまいります。</p>

消防本部名

草加八潮消防局



様式 1

都道府県名又は消防本部名 小松市消防本部

1 行事項目	立入検査
2 行事内容	<p>①目的 令和4年8月4日小松市で発生した豪雨災害で小松市内では大規模な河川の氾濫や市街地含む市内のいたるところで浸水被害が発生しました。幸いにも危険物施設において事故は発生しませんでした。今後同等以上の大雨災害が発生したときに、危険物施設から事故が発生することを未然に防ぐことを目的に、梅雨入り前の危険物安全週間の行事の一環として、昨年の災害で得た教訓を生かし、浸水被害が大きかった地域を中心に、屋外で危険物を取り扱い、豪雨発生時に流出事故が発生するリスクがある施設を対象に大雨対策についての広報啓発を兼ねた立入検査を実施しました。</p> <p>②実施期間 令和5年6月5日（月）～6月22日（木）</p> <p>③実施対象 令和4年8月4日豪雨災害で特に浸水被害が大きかった地区にある、屋外タンク貯蔵所、給油取扱所（自家用含む）合計8施設</p> <p>④指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常点検は実施しているか、またその重要性を認識しているか。 ・昨年の豪雨時及び復旧時にどのような対応をとったか、またそれが適切であったか。 ・社内でき災した際の対応は決めているか、またその対応は適切か。 <p>⑤その他 令和5年6月5日に(株)小松村田製作所（屋外タンク貯蔵所を有する）で立入検査を実施しました。その際の写真を資料として添付します。各社でいろいろ対応を考えておられており、また、実際にり災したこともあり、いずれの事業所も高い関心をもって立入検査にご協力いただけたので、消防としても勉強になる部分も多くあり、今後も継続して実施したく、また他市でもご参考になればと思い情報提供させていただきます。なお、別添の写真①（豪雨時の市内の状況）、写真②（立入検査の状況）は小松市消防本部が撮影したもので、写真③は報道機関から提供を受けたものを添付しています。</p>

消防本部名

小松市消防本部



写真①



写真②



記事、写真：北陸中日新聞提供

写真③

様式 1

都道府県名又は消防本部名 白山野々市広域消防本部

1 行事項目	訓練・講習会
2 行事内容	<p>1 行事名 白山野々市防火安全協会消防訓練・講習会</p> <p>2 目的 各事業所における自主保安体制の確立及び静電気に係る知識の習得を目的とする。</p> <p>3 内容 (1) 消防訓練 大阪有機化学工業株式会社と白山野々市広域消防本部との合同訓練を白山野々市防火安全協会の会員が見学する。</p> <p>ア 想定 地震が発生し、屋外タンク貯蔵所の配管が損傷したことにより危険物が漏洩し何らかの原因で出火する。</p> <p>イ 内容 事故発生から消防機関への通報、危険物漏えいに対する措置、怪我人の搬送・救護、火災の初期消火、化学消防自動車における消火活動及び消防隊到着時の情報提供について、ナレーションを入れて展示する。</p> <p>(2) 講習会 静電気火災・事故を予防するため、①静電気の危険性、②静電気の基礎、③静電気対策に係る講習会を実施する。</p> <p>4 成果 (1) 消防訓練 各事業所において、危険物施設で火災・事故が発生した場合の通報や初期消火等の初動体制の構築を図るとともに、消防隊が求める情報に対する事前準備を促すことで、保安体制の整備、見直しを促進することができた。</p> <p>(2) 講習会 静電気火災・事故「0」を目指し、危険物の特性及び危険物の取扱いに伴う危険性を周知し、事業所における安全作業の徹底を促すことができた。</p>

5 会場

大阪有機化学工業株式会社 金沢工場

危険物施設の概要

製造所	14施設
屋内貯蔵所	9施設
屋外タンク貯蔵所	73施設
地下タンク貯蔵所	1施設
屋外貯蔵所	1施設
一般取扱所	5施設

消防本部名 白山野々市広域消防本部



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

<p>1 行事項目</p>	<p>訓練</p>
<p>2 行事内容</p>	<p>【石油基地合同防災訓練】</p> <p>1 訓練想定及び目的</p> <p>令和5年6月5日（月）15時頃に、福井沖で発生した震度6の地震により特定屋外タンク貯蔵所（貯蔵油種レギュラーガソリン最大容量3,415kL）から火災が発生したとの想定で、石油基地自衛防災隊および共同防災隊と消防機関との連携、災害時の効果的な緊急措置及び災害による被害の軽減化並びに防災意識の高揚を図ることを目的に訓練を実施した。</p> <p>2 訓練参加機関</p> <p>嶺北三国消防署 16名 石油基地自衛防災隊 10名 共同防災隊 3名</p> <p>3 訓練写真</p>    

様式 1

都道府県名又は消防本部名 若狭消防組合消防本部

1 行事項目	訓練
2 行事内容	<p>施設区分：給油取扱所 実施訓練：非常用発電機取扱訓練</p> <p>震災時等における臨時的な給油作業を安全に実施できるよう、非常用発電機取扱訓練を実施しました。</p> <p>今回は、夜間の停電時を想定し、実際に暗い条件下で訓練することにより、安全確保のための注意点等を確認しました。</p>



様式 1

都道府県名又は消防本部名 松本広域消防局

1 行事項目	広報啓発
2 行事内容	<p>・YouTube、Twitterを利用した広報を実施 令和5年度危険物安全週間（6月4日から10日まで）の実施に伴い、危険物の保安について啓発を行ったもの</p> <p>【YouTube】 https://www.youtube.com/channel/UCGFDD3Tipt0FJJ-ODLmpF0w/</p> <p>【Twitter】</p> 

消防本部名

松本広域消防局



写真① (YouTube)



写真② (YouTube)



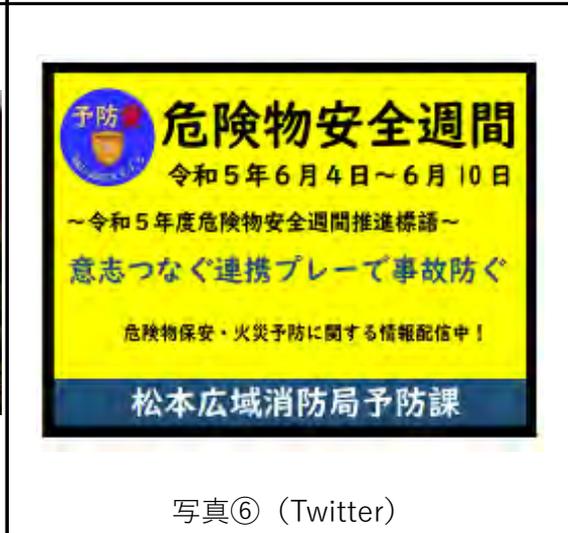
写真③ (YouTube)



写真④ (YouTube)



写真⑤ (Twitter)



写真⑥ (Twitter)

様式 1

都道府県名又は消防本部名 多治見市消防本部

1 行事項目	広報啓発
2 行事内容	<p>当本部では「危険物施設における事故防止」を目的とした<u>市内危険物施設一斉自主点検</u>を実施しました。</p> <p>1年に1回以上の定期点検が必要ではない危険物施設も一斉に自主点検を行いました。</p> <p>〈点検方法・期間〉</p> <p>事業所の自主点検とし、期間は令和5年6月4日（日）から令和5年6月10日（土）までの間で、各事業所の実施可能な日としました。</p> <p>市内危険物施設を所有する事業所に対し、案内文及び該当する点検表（「製造所等の定期点検に関する指導指針の整備について」の点検表）を同封し、点検をしていただきました。</p>

消防本部名 多治見市消防本部



事業所の方が自主点検をしている様子
(屋内貯蔵所)



事業所の方が自主点検をしている様子
(屋内貯蔵所)



事業所の方が点検をしている様子
(地下タンク貯蔵所)



事業所の方が点検をしている様子
(地下タンク貯蔵所)

様式 1

都道府県名又は消防本部名 富士宮市消防本部

1 行事項目	訓練・立入検査・広報啓発
2 行事内容	<p>1 訓練</p> <p>(1) 実施日 令和5年6月9日(金)</p> <p>(2) 内容 市内危険物事業所である株式会社富士化工研究所において、屋外タンク貯蔵所からの危険物漏洩・引火を想定した、消防署隊と自衛消防組織の連携訓練を実施。 自衛消防隊は、発見から119番通報、初期消火、負傷者搬送及び消防隊との情報共有の訓練を実施。 消防署は、危険物火災に対する防ぎよ及び自衛消防隊との負傷者搬送等を含む連携訓練を実施。</p> <p>2 立入検査</p> <p>(1) 実施日 令和5年6月4日から6日まで</p> <p>(2) 内容 市内危険物事業所7事業所において立入検査を実施。(給油取扱所6施設、地下タンク貯蔵所1施設、少量危険物移動タンク4施設) (※添付PDF参照)</p> <p>3 広報啓発</p> <p>(1) のぼり旗の掲示(消防署及び分署) (2) 消防車両への広報用マグネット掲示 (3) 消防職員の広報用リボン着用 (4) 少年消防クラブによる給油取扱所での広報活動</p> <p>ア 実施日 令和5年6月7日(水)</p> <p>イ 内容 少年消防クラブ員(小学校4年生から6年生)と協力し、給油取扱所の給油客に対し危険物の安全管理についての広報活動を実施。(のぼり旗の掲示とパンフレットの配布)</p>



写真①

危険物取り扱い施設で立ち入り検査

富士宮市消防本部
7カ所で点検状況など確認



給油機の状態を確認する消防職員

富士宮市消防本部 10日に合わせ6日、(鈴木英之消防長は、危険物を取り扱う施設、給油機の状態を確認し、点検状況を確認した。)

ENEOS北山Sエスノズルやホースが劣化しているが、消火器の使用期限など念入りにチェックした。同週間は「意志」なりにテックした。期間中は同所を含む7カ所を巡回し、事故防止の確保に努めた。危険物7カ所での立ち入り検査が行われるほか、富士宮市立黒田小児童クラブ各事業所における自主防災会による広報活動が予定されている。

同日は、同本部予防課の渡井大樹係長は、一斉に展開した。同本部予防課の渡井大樹係長は、一斉に展開した。同本部予防課の渡井大樹係長は、一斉に展開した。



市明るい選挙推進協が総会

新年度事業計画決める

富士宮市明るい選挙推進協議会の2023年度事業計画は、市明るい選挙推進協の総会で決まった。

若狭用パスポート、あて書き、高校生選挙投票、選挙前講座、研修会、選挙時街頭発表のほか、東部明推協事業、異明推協事業への参加などを決めた。



グループワークを行う参加者

ふじのみや未来塾

参加者で企画共有

地域の課題解決などをテーマに、ふじのみや未来塾の参加者が企画共有を行いました。



岳南朝日新聞社
富士宮市野中東町46-1
TEL 0544-28-0209
FAX 0544-28-0218
編集 0544-28-0234
営業 0544-28-0220
月977円 1部60円

不動産 売るのも 買うのも 借るのも
株式会社 齊藤商事
TEL 0544-248880
FAX 0544-248881

購読申し込み先
●富士宮(0544)
●静岡(0545)
●浜松(053)
●名古屋(052)
●大阪(06)
●東京(03)
●福岡(092)
●札幌(011)
●仙台(022)
●広島(085)
●岡山(086)
●京都(075)
●奈良(074)
●和歌山(073)
●徳島(087)
●高松(087)
●松山(077)
●高知(098)
●大分(097)
●熊本(096)
●鹿児島(099)
●沖縄(098)

<p>1 行事項目</p>	<p>訓練・広報啓発・その他</p>
<p>2 行事内容</p>	<p>1 ガソリン放火防止運動</p> <p>近年、ガソリンを使用した多数の死者を伴う放火犯罪が後を絶たず、ガソリンの容器販売を自主的に控える給油取扱所も増加していることから、容器によるガソリンの購入を希望する顧客と給油取扱所との間でのトラブルも散見される。このような背景を踏まえ、管内給油取扱所を対象としたガソリン放火防止運動を開始した。</p> <p>この運動は、給油取扱所でのガソリン容器販売時の本人確認等が適正に実施されているかの調査を行うほか、容器販売の状況が一目で分かるよう、店舗に販売状況に応じたポスターの掲示を行うとともに、警察署と連携した啓発ステッカーを貼ってもらうことで、給油取扱所の法令遵守意識の向上、ガソリンによる放火犯罪の防止を目的とするものである。</p> <div data-bbox="483 936 903 1205" data-label="Image"> </div> <p>併せて、各給油取扱所でのガソリン容器販売状況をリスト化し、問い合わせがあった際に販売可能店舗を住民の方々に案内するなど、顧客と給油取扱所とのトラブル防止を図りつつ、適正なガソリンの容器販売を目指すものである。</p> <div data-bbox="483 1211 1430 1547" data-label="Complex-Block"> <p>管内警察署と連携した ポスターとステッカー</p> <div data-bbox="507 1339 871 1480" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="963 1234 1166 1518" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1174 1234 1377 1518" data-label="Image"> </div> </div> <p>2 管内事業所との合同訓練</p> <p>当消防組合管内にある関西国際空港において、紀伊半島南部沖を震源とする震度6強の内陸活断層型地震が発生したと想定し、負傷者救護訓練、危険物漏洩処置訓練、タンク火災消火訓練を実施した。</p> <div data-bbox="499 1709 959 2011" data-label="Image"> </div>

3 廃止危険物施設を利用した職員研修の実施

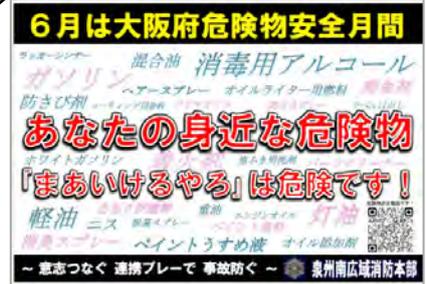
当消防組合では、毎年、危険物施設への立入検査研修を行っており、今年度は、廃止危険物施設を利用した職員研修を実施した。

研修後のアンケートでは、「実際の危険物施設を利用した模擬検査を行うことで、立入検査のイメージがついた」との意見があり好評であった。



4 危険物安全週間中の広報

管内3市3町のコミュニティバスや関西国際空港の道路情報掲示板に、令和5年度危険物安全週間推進標語を掲出するほか、身近にある危険物への安全意識の向上を目的としたポスターを掲出し、広い世代に向けた啓発活動を実施した。



※大阪府では6月を危険物安全月間としています。

管内3市3町のコミュニティバスへのポスター掲出



関西国際空港道路情報表示板での広報 危険物安全週間バッジによる広報



車両にオリジナルマグネットシートを
貼り付けての広報

様式 1

都道府県名又は消防本部名 伊丹市消防局

1 行事項目	訓練
2 行事内容	<p>危険物安全週間に伴い、危険物施設を有する事業所と合同訓練を実施。事業所における自主保安体制を確立し、災害発生時の活動体制を強化するとともに、消防と事業所の情報共有を図り、防災意識の高揚及び双方の災害対応能力の向上に努めた。</p> <p>また、訓練の様子を消防局公式SNSにて発信し、広く火災予防啓発を図った。</p> <p>訓練実施場所：伊丹市奥畑4丁目1 金井重要工業(株)繊維機器製造所 訓練日時：令和5年6月12日(月) 15時00分から16時00分 参加人員：消防側5隊、事業所側50名</p> <p>伊丹市消防局公式SNS ↓ </p>

消防本部名

伊丹市消防局



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

様式 1

都道府県名又は消防本部名 _____ 橋本市消防本部 _____

1 行事項目	訓練
2 行事内容	<p>事業所との合同訓練</p> <p>内容</p> <p>毎年実施の行事に加え、今回、危険物施設のある事業所と合同で施設内からの火災を想定した訓練を実施しました。</p> <p>事業所は消防車の誘導等、消防は事業所内の再確認ができたことで、双方にとって大変有意義な訓練となりました。</p> <p>訓練実施後は消火器を使用した消火訓練、施設内の大型消火器を借用し使用方法の説明、確認を実施しました。</p> <p>別紙写真</p>

消防本部名

橋本市消防本部



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

様式 1

都道府県名又は消防本部名 呉市消防局

1 行事項目	立入検査
2 行事内容	<p>セルフガソリンスタンドを対象とした、夜間立入検査を行いました。</p>   

様式 1

都道府県名又は消防本部名 東広島市消防局

1 行事項目	訓練・立入検査
2 行事内容	<p>1 製造所等の危険物施設を有する事業所に対する立入検査の実施 内容：一般の顧客が危険物を取扱うセルフスタンドにおいて、夜間における保安体制を確保するため、勤務体制が手薄になる夜間に、事前通告なしで査察を実施したもの。 実施日時：6月5日（月）～6月9日（金） 17：00～20：00 実施事業所数：28事業所 不備事項の有無：【有】14事業所 【無】14事業所</p> <p>2 製造所等の危険物施設を有する事業所における消防訓練の実施 内容：南海トラフ地震（震度6弱）により、危険物施設（屋外タンク貯蔵所）から内容物が漏洩し、何らかの原因で着火し火災に至ったことを想定して、事業所の自衛消防隊と消防局の消防隊が連携して、消火・通報・避難及び救護訓練を実施。 実施日：6月9日（金） 参加人員：【事業所】30人 【消防】10人</p>

消防本部名

東広島市消防局



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

様式 1

都道府県名又は消防本部名 大川広域消防本部

1 行事項目	立入検査
2 行事内容	実施事業所数 3 事業所 実施施設数 屋内貯蔵所 5、屋外タンク貯蔵所 2、屋内タンク貯蔵所 1 地下タンク貯蔵所 2、給油取扱所 1、一般取扱所 4

様式 1

都道府県名又は消防本部名 松山市消防局

1 行事項目	立入検査・その他
2 行事内容	<p>◆危険物施設への立入検査にあわせた合同火災予防業務研修を実施</p> <p>松山市消防局では、令和5年6月7日（水）、当市管内で改修工事中の屋外タンク貯蔵所への立入検査にあわせて、伊予消防等事務組合消防本部、東温市消防本部、久万高原町消防本部と合同で火災予防業務研修を実施しました。</p> <p>この研修は、近年減少傾向にある消防設備や危険物施設の検査などの現場経験を各消防本部の担当者が共有することで、効果的な人材育成と業務の連携強化を図ることを目的として、今年3月に締結した『松山圏域での火災予防業務研修に関する協定』に基づき実施したものです。</p> <p>今回は、開放中の特定屋外貯蔵タンクでの溶接・溶断作業等に伴う火気の使用状況、工事用資材の管理状況、消火器具の準備状況の確認など、工事中の危険物施設からの出火防止に着目した立入検査のポイントのほか、浮き屋根式特定屋外貯蔵タンクの構造、設備について学びました。</p> <p>今後も機会を捉えて積極的に研修を実施し、危険物施設での事故防止を図るとともに、消防職員の火災予防技術の向上に繋げていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

消防本部名

松山市消防局



写真① 屋外タンク貯蔵所への立入検査



写真② 工事関係者への聞き取り



写真③ 底板の工事状況の確認



写真④ 屋根板の工事状況の確認



写真⑤ 浮き屋根式特定屋外貯蔵タンク



写真⑥ 浮き屋根の構造等の確認

様式 1

都道府県名又は消防本部名 佐世保市消防局

<p>1 行事項目</p>	<p>訓練</p>
<p>2 行事内容</p>	<p>1 訓練目的及び想定</p> <p>危険物施設における危険物の貯蔵、取扱いに係る安全を喚起するとともに、消防機関と事業所の相互連携の強化及び消防技術の向上を目的とし、敷地内の屋内貯蔵所から火災が発生し、近隣の雑木林に飛び火したため、隣接する屋外タンク貯蔵所にも延焼危険があるという想定で実施した。</p> <p>2 日時及び実施事業所</p> <p>令和5年6月20日(火) 10時00分開始</p> <p>株式会社新出光佐世保油槽所</p> <div data-bbox="695 994 1238 1397" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="778 1413 1142 1447">自衛消防隊によるホース延長</p> <div data-bbox="695 1518 1238 1921" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="743 1989 1134 2022">ドローンによる被害状況の確認</p>

様式 1

都道府県名又は消防本部名

山鹿市消防本部

<p>1 行事項目</p>	<p>広報啓発</p>
<p>2 行事内容</p>	<p>当消防本部では、危険物安全週間中の6月6日（火）、ガソリン等の危険物に対する意識の高揚及び事故防止の啓発を図るため、管内の商業施設において、リーフレット及び熊本県山鹿植木地区危険物安全協会の協賛で作成した啓発グッズを市民に配布し、注意喚起を呼びかけました。</p> <div style="text-align: center;">   </div>

様式 1

都道府県名又は消防本部名 由布市消防本部

1 行事項目	立入検査・講習会
2 行事内容	<ul style="list-style-type: none">・立入検査実施施設 4施設（給油取扱所2件、地下タンク貯蔵所2件） ・危険物関係法令講習会 開催日 令和5年6月6日（火） 参加人員 13名 内容 危険物の事故の発生状況、危険物行政、危険物の基礎等

平安座地区石油コンビナート等
特別防災区域協議会
沖縄石油基地株式会社
代表取締役社長 佐藤 啓喜
沖縄出光株式会社
代表取締役社長 松田 豊
沖縄ターミナル株式会社
代表取締役社長 岸 主税

株式会社 沖縄給油設備
代表取締役社長 金城 浩
〒901-2102 沖縄県浦添市前田1-46-34
TEL.098-877-4504 FAX.098-877-6866

南西石油
代表取締役社長 村上 統

地下タンク・タンクローリー定期点検は当社に御用命ください
一般財団法人 全国危険物安全協会認定
株式会社 タンク検査沖縄
代表取締役 安河山 可良
〒902-0062 沖縄県那覇市松川1丁目4番8号
TEL(098)832-4133 FAX(098)832-4136

2023 | 令和5年
6/4(日) → 6/10(土)
危険物安全週間

主催 沖縄県・沖縄県危険物安全協会
(公財)沖縄県消防協会
共催 (一財)消防試験研究センター
(一社)沖縄県消防設備協会

ごあいさつ
沖縄県知事 玉城 デニー
はいさいぐすーよーちゅーらがなびら。
私たちの身の回りには、灯油など石油類をはじめとする様々な危険物は、社会生活を豊かに営む上でなくてはならない物である一方、その取扱いを誤ると、火災や爆発などを引き起こし、生命や財産に甚大な被害を及ぼすおそれがあります。

危険物安全週間は、危険物を取り扱う事業所において、自主保安体制の確立を呼びかけ、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を図ることを目的としています。令和5年度は「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」をスローガンに、本日から6月10日までの1週間、全国一斉に実施されます。
近年、全国的にガソリンスタンド等の危険物を取り扱う施設は減少しているにもかかわらず、火災・流出事故件数は、依然として高い水準で推移しています。県内では、昨年10件の事故が発生しており、その主な原因は操作確認が不十分であること等の人為的ミスによるものであります。
危険物による事故を未然に防ぐためには、保安教育の充実や人材育成、危険物の取扱いに関する技術の継承が不可欠です。また、それに加えて地震・津波・台風など想定される全てのリスクに対して適時・適切な事故防止の対策を講ずることが重要となります。
沖縄県では、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に掲げる「あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり」を目指し、官民一体となって、危険物に係る事故防止対策の推進や、危険物施設の保安体制の整備促進、危険物に関する知識の普及啓発などに取り組んでまいります。
危険物を取り扱う事業所及び県民の皆様には、本週を契機として、危険物に関する知識を深めていただき、危険物災害ゼロの島を目指して、なお一層の保安体制の向上に努めていただきますよう、お願い申し上げます。
令和5年6月4日
ゆたさるぐとぅうにげーさびら。



ごあいさつ
沖縄県危険物安全協会 会長 玉城 善和
危険物施設における火災、流出などの事故は、地域社会の人々に与える影響が極めて大きく、危険物の貯蔵、取り扱いや運搬に関する安全性の確保を図ることは必要不可欠なことです。

令和3年中の危険物施設における火災・流出事故件数は全国で646件で、前年に比べると84件増加しており、深刻な被害が生じる事故も頻発するなど、大きな問題となっております。事故発生の原因としては、火災事故では維持管理不十分や操作確認不十分など人的要因が多くを占めており、流出事故では特に腐食疲労等劣化や破損、施工不良などの物的要因によるものが高くなっております。
私たち危険物を取り扱う事業所において、人為的なミスを無くす事は勿論のこと、危険物取扱者が常に保安に関する新しい情報を習得し、知識、技能を磨き、その資質を向上させる事が危険物関連火災・漏えい等の事故発生を防ぐ上で極めて大切な事だと考えております。
当協会や会員事業所においては、危険物安全週間の趣旨を踏まえ、令和5年度危険物安全週間推進標語「意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ」のスローガンを胸に、引き続き地域の安心・安全のため、保安思想の普及啓発に努めて参りますので県民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。
令和5年6月4日

保安講習を受けましょう!
8月 受講対象者受付
9~10月 講習会の実施
※未受講者は、危険物取扱者免状の返納を命ぜられることがあります。

意外と身近にある危険物
ペンキ・医薬品・漂白剤・農薬・化粧品(マニキュア)等
危険物を利用した製品の取り扱いに気をつけるよう心がけましょう。

セルフスタンドでの安全対策を推進しましょう!
●タバコなどの火気は絶対厳禁です。
●ガソリンなどの気化ガスに引火の恐れがある静電気は、給油前に取り除きましょう。
●燃料の入れ間違いは故障や事故の原因です。

沖縄県危険物安全協会
会長 玉城 善和
〒901-0405 島尻郡八重瀬町字伊覇228
沖縄県石油会館内
TEL(098)998-1877 FAX(098)998-1875

一般社団法人 沖縄県消防設備協会
理事長 喜瀬 啓二
〒900-0012 那覇市泊三丁目1番地26
TEL(098)943-5574

消防設備設計・施工・保守管理業務
セルフスタンド 泡消火設備・点検
(ハロン、二酸化炭素 消火設備)・点検
表示登録番号 47-1-0005号
アイチ消火器工業
沖縄県宜野湾市長田1丁目1番地1号
TEL.098-896-0581 FAX.098-896-0582

北斗設計株式会社
代表取締役 渡久地 政真
那覇市宇栄原1-1-2 TEL.098-891-8777

OMAP
OKINAWA MARKET PLANNING

様式 1

都道府県名又は消防本部名 沖縄市消防本部

1 行事項目	講習会
2 行事内容	<p>令和5年6月16日（金）、危険物施設を有する事業所（昭和瀝青工業株式会社）の職員20名に対して危険物、指定可燃物の安全な取扱い方法及び消防による規制について安全講話を実施しました。</p> 

様式 1

都道府県名又は消防本部名 中城北中城消防本部

1 行事項目	立入検査
2 行事内容	<p>給油取扱所の立入検査を行った。</p> <p>その際、「豪雨等災害の発生時における防火安全上の留意事項について」 (令和5年5月24日 消防予第310号・消防危第147号)の内容を周知し、予 防規定に組み込むよう指導した。</p>

様式 1

都道府県名又は消防本部名 沖縄県 東部消防組合

1 行事項目	立入検査・広報啓発
2 行事内容 立入検査実施 (6/6 10:00～) ・西原町小那覇工業地域の廃油精製施設の立入検査を実施しました。	  

令和5年度危険物安全週間
横断幕設置

- 東部消防組合管内に横断幕を3枚設置



(写真-1 西原町小那覇工業地区)



(写真-2 東部消防署西原分署)



(写真-3 東部消防署南風原分署)